

<世界遺産・醍醐寺 三宝院>

～豊臣秀吉と縁のある寺院で「舟遊び」を再現～
紅葉庭園を舞台に 能 × 笙「夜間特別上演」開催

— 令和 7 年 11 月 29 日 (土)・30 日 (日) / 12 月 6 日 (土)・7 日 (日) 19:00～ —

<世界遺産・醍醐寺 三宝院>
～豊臣秀吉と縁のある寺院で「舟遊び」を再現～



紅葉庭園を舞台に 能 × 笙「夜間特別上演」開催

11月29日(土) 30日(日)
12月6日(土) 7日(日)

開場: 18:00
開演: 19:00

河村 晴久 氏 能楽師 (観世流)
井原 季子 氏 鳳笙奏者



世界文化遺産 京都 醍醐寺
THE WORLD CULTURAL HERITAGE DAIGOJI TEMPLE

紅葉に染まる三宝院庭園で、豊臣秀吉の「醍醐の花見」に通じる“舟遊び”の再現。

千年の祈りを受け継ぐ世界遺産京都醍醐寺で、古典芸能が水面に舞う。

京都・伏見の世界遺産、醍醐寺三宝院(京都市伏見区)は、かつて豊臣秀吉が自ら庭園を整え、春の宴を催したゆかりの地にて、秋の紅葉ライトアップとともに楽しむ 夜間特別上演(能 × 笙)を開催いたします。

本催しでは、三宝院の池に浮かべた船を舞台とし、能や笙の生演奏が秋夜の庭園に響き渡る、唯一無二の文化空間を作り出します。

かつて三宝院で行われた「舟遊び」を現代に再現する試みであり、歴史・自然・芸能が溶け合う「世界遺産 京都・醍醐寺ならではの」幽玄の世界をご体感いただけます。

■ 開催概要

【日程】

- ・2025 年 11 月 29 日 (土) 19:00～ (半月) 仕舞『藤戸』・『船弁慶』
- ・2025 年 11 月 30 日 (日) 19:00～ (半月) 鳳笙演奏
- ・2025 年 12 月 6 日 (土) 19:00～ (満月) 鳳笙演奏
- ・2025 年 12 月 7 日 (日) 19:00～ (満月) 仕舞『融』・『船弁慶』

*今回上演の仕舞は、能の一番の見どころを能面・能装束・囃子の演奏を使わずに、紋付姿で上演いたします。絵画におけるデッサンのように演技の骨格がお楽しみいただけます。

<世界遺産・醍醐寺 三宝院>

～豊臣秀吉と縁のある寺院で「舟遊び」を再現～
紅葉庭園を舞台に 能 × 笙「夜間特別上演」開催

—— 令和 7 年 11 月 29 日（土）・30 日（日）／12 月 6 日（土）・7 日（日）19:00～
——

■ 演目紹介

● 『藤戸（ふじと）』

佐々木盛綱が戦功の裏で犯した“秘められた罪”。亡霊と向き合う武将の葛藤と救いの物語。

● 『融（とおる）』

六条河原院に現れた源融の亡霊が、月夜に舞を見せる幽玄の世界。月光と池、庭園の景色に最も調和する作品。

● 『船弁慶（ふなべんけい）』

源義経が都落ちする際、海上で平家一門の怨霊に襲われる物語。嵐、怨霊、祈祷…劇的な展開と迫力の舞が魅力の名作。

● 鳳笙（ほうしょう）演奏

雅楽の中でもひとときわ幻想的な音色を放つ笙。水上に広がる複雑な倍音が、庭の夜気と響き合います。

■ 出演者

- 能楽師（観世流） 河村 晴久 氏
- 鳳笙奏者 井原 季子 氏

（各日スケジュールに応じて出演）

■ 料金：通常拝観料 1,000 円（現地にてお支払いください）

【会場】

醍醐寺 三宝院庭園（雨天時：表書院）京都市伏見区醍醐東大路町 22

<アクセス>

・京都市営地下鉄東西線「醍醐駅」・京阪バス「醍醐寺」「醍醐寺前」

■ 本催しの見どころ

● 1）豊臣秀吉ゆかりの三宝院庭園で、“舟遊び”を現代に再現

三宝院庭園は、慶長 3 年（1598）に豊臣秀吉が「醍醐の花見」に際し自ら指示して整えた名園。

歴史的にも特異な「舟遊び」を、秋夜の池に浮かぶ舞台で再現します。

● 2）紅葉ライトアップ × 池に浮かぶ舞台 × 古典芸能の奇跡の共演

能や笙の音色が、水面に映る紅葉と月光に溶け合う、幻想的な空間演出。月齢に合わせた上演日程も魅力です。

● 3）世界遺産が舞台。千年続く祈りと芸能が重なる“京都の夜”

秋の特別公開に合わせて、世界遺産の寺院が夜間に開かれる希少な機会。歴史・信仰・芸術が一体となる体験は、国内外から注目されています。



<世界遺産・醍醐寺 三宝院>

～豊臣秀吉と縁のある寺院で「舟遊び」を再現～
紅葉庭園を舞台に 能 × 笙「夜間特別上演」開催

—— 令和 7 年 11 月 29 日 (土)・30 日 (日) / 12 月 6 日 (土)・7 日 (日) 19:00～
——

■ 主催

醍醐寺

(真言宗醍醐派総本山・世界遺産)

■ 企画

カルチュラル・エデュツーリズム・カウンスル (株式会社ルウルウ商會)

本プロジェクトに込めた思い

本プロジェクトは、醍醐寺が守り伝えてきた国宝・重要文化財を次代へと確かに継承するために立ち上げた、第一歩となる取り組みです。

千年以上にわたり受け継がれてきた祈りと文化を、これからの未来にも変わらず息づかせたい。その強い願いのもと、一人でも多くの方に醍醐寺の魅力と価値を知っていただき、ご支援につながればと願っております。

悠久の時間を超えて輝き続ける文化遺産を、これからも守り育てていくために皆さまの温かいご来場とご協力を、心よりお願い申し上げます。

*本企画は、京都府、京都府観光連盟「京都 朝・夜観光」推進事業補助金 採択事業です。

■ お問い合わせ先 (株式会社ルウルウ商會)

世界遺産 醍醐寺 premium experience 事務局

メール: office@cec-kyoto.jp

電話番号: 050-3690-1222



世界遺産

醍醐寺 三宝院

特別上演

～豊臣秀吉と縁のある寺院で「舟遊び」を再現～

2025.11.29^土/30^日/12.6^土/7^日

19:00ー 拝観料(夜間): ¥1,000 会場: 醍醐寺三宝院 庭園・松月亭

醍醐寺は、平安時代の貞観16年(874年)に理源大師・聖宝によって開かれた真言宗醍醐派の総本山です。豊臣秀吉が晩年に「醍醐の花見」を催した地としても名高く、三宝院はその際に秀吉自らが指示を出して庭園を整備したと伝えられています。この歴史的背景に基づき、当時の舟遊びを現代に再現する形で、特別な夜間公演を開催いたします。ライトアップされた紅葉の三宝院庭園を背景に、池に浮かぶ船上で繰り広げられる能や笙などの古典芸能をお楽しみください。千年の時を超えて受け継がれる醍醐寺の美と祈りが、秋の夜空に静かに響きます。

日 時	月 齢	演 目	出演者・内容
11/29 ^土 19:00～	半月	仕舞『藤戸』・『船弁慶』	井原季子/河村晴久
11/30 ^日 19:00～	半月	鳳笙演奏	井原季子(鳳笙)
12/6 ^土 19:00～	満月		
12/7 ^日 19:00～	満月	仕舞『融』・『船弁慶』	井原季子/河村晴久

※今回上演の仕舞は、能の一番の見どころを能面・能装束・囃子の演奏を使わずに、紋付姿で上演いたします。絵画におけるデッサンのように演技の骨格がお楽しみいただけます。

- 『藤戸(ふじと)』: 佐々木盛綱が戦功の裏で犯した“秘められた罪”。亡霊と向き合う武将の葛藤と救いの物語。
- 『融(とある)』: 六条河原院に現れた源融の亡霊が、月夜に舞を見せる幽玄の世界。月光と池、庭園の景色に最も調和する作品。
- 『船弁慶(ふなべんけい)』: 源義経が都落ちする際、海上で平家一門の怨霊に襲われる物語。嵐、怨霊、祈禱…劇的な展開と迫力の舞が魅力の名作。
- 鳳笙(ほうしょう)演奏: 雅楽の中でもひとときわ幻想的な音色を放つ笙。水上に広がる複雑な倍音が、庭の夜気と響き合います。



能楽師(観世流)
河村晴久



笙奏者
井原季子



世界文化遺産 京都 醍醐寺

醍醐寺三宝院庭園・松月亭(雨天時は表書院で開催) 京都市伏見区醍醐東大路町22 TEL.075-571-0002
(最寄駅)京都市営地下鉄東西線「醍醐駅」駅、京阪バス 京都醍醐寺ライン「醍醐寺」駅、京阪バス「醍醐寺前」駅

この事業は、京都府・(公社)京都府観光連盟の「『京都 朝・夜観光』推進事業補助金」を活用して実施しています。

Autumn Special Evening Performances Daigo-ji Sanbō-in

Recreating Toyotomi Hideyoshi's "Boat Banquet" at a World Heritage Temple

Dates | November 29 (Sat), November 30 (Sun), December 6 (Sat), December 7 (Sun), 2025

Times | 19:00- Admission (Evening) | ¥1,000

秋季特別夜間公演

醍醐寺三寶院

重現豐臣秀吉在世界遺產寺院舉辦的「賞船宴」

日期 | 2025年11月29日, 11月30日, 12月6日, 12月7日

時間 | 每晚兩場: 19:00- 參觀費(夜間) | ¥1,000

伽藍の拝観には、別途拝観料が必要です。

Daigo-ji Temple, the head temple of the Daigo school of Shingon Buddhism, was founded in 874 CE by the monk Shōbō (Rigen Daishi) during the Heian period. It is renowned as the site where Toyotomi Hideyoshi held his legendary "Daigo no Hanami" cherry blossom viewing in his later years. For this grand celebration, Hideyoshi is said to have personally directed the design of the Sanbō-in garden.

Drawing inspiration from this historical background, we are pleased to present a special evening performance that revives the elegant boat excursions once enjoyed by Hideyoshi himself.

Under the glow of illuminated autumn foliage, guests can enjoy traditional Japanese performing arts—including Noh theater and gagaku instruments such as the shō (mouth organ)—performed aboard boats floating gracefully on the pond of the Sanbō-in garden.

The timeless beauty and spiritual heritage of Daigo-ji, preserved for over a thousand years, come to life once again through these sacred performances.

醍醐寺是真言宗醍醐派の總本山，由理源大師聖實於平安時代的874年創立。此寺以豐臣秀吉晚年舉辦盛大的「醍醐賞花宴」而聞名，相傳當時的三寶院庭園即由秀吉親自指導設計。

以這段歷史為靈感，我們特別重現了昔日秀吉享受過的優雅船遊以及表演。

在絢爛的秋夜楓紅下，您能在國寶三寶院池畔，欣賞難得一見的水上能劇表演及雅樂風箏等傳統藝樂。

歷經千年傳承的醍醐寺之美與祈禱的精神，將隨著這場神聖的演出再度綻放光華。

Date & Time 日期和時間	Moon Phase 月齡	Program 節目	Performers / Details 演出者・內容
November 29 / 19:00-	Half Moon 半月	Shimai "Fujito" 仕舞《藤戸》 Shimai "Funa Benkei" 仕舞劇《船弁慶》	Tokiko Ihara (shō), Haruhisa Kawamura (Noh actor, Kanze School) 井原季子(風箏), 河村晴久(觀世流能樂師)
November 30 / 19:00-	Half Moon 半月	Shō (gagaku mouth organ) Performance 風箏演奏	Tokiko Ihara (shō) 井原季子(風箏)
December 6 / 19:00-	Full Moon 滿月	Shimai "Tōru" 仕舞《蝸》 Shimai "Funa Benkei" 仕舞劇《船弁慶》	Tokiko Ihara (shō), Haruhisa Kawamura (Noh actor, Kanze School) 井原季子(風箏), 河村晴久(觀世流能樂師)

※ The shimai pieces are performed without masks, costumes, or musical ensemble. Like a "drawing study" in painting, shimai reveals the pure structure and essence of Noh performance. 本次的「仕舞」為不使用能面、能裝束與樂器演奏，以紋付姿呈現。如同繪畫中的素描，讓觀眾純粹欣賞能樂的骨架與核心之美。

● Fujito (藤戸): A tale of a hidden crime committed by the warrior Sasaki Moritsuna in the shadows of war. The drama unfolds as he confronts the ghost of the victim — exploring guilt, conflict, and salvation. 武將佐佐木盛綱在戰功背後隱藏著一樁秘密的罪行。他與亡靈面對面，展開一段關於罪、矛盾與救贖的故事。

● Tōru (蝸): The spirit of Minamoto no Tōru appears at the former Rokujō Kawara-in residence, performing a graceful dance under the moonlight. A masterpiece harmonizing perfectly with the illuminated pond and garden. 源賴朝之靈現身於六條河原院，在月夜下翩然起舞。作品的幽玄氣氛與池水倒影、庭園景緻達到完美的調和。

● Funa Benkei (船弁慶): As Minamoto no Yoshitsune flees the capital, the vengeful spirits of the Taira clan attack on the open sea. Storms, spirits, and powerful prayers shape this dramatic, iconic work. 源義經在離開京都時，於海上遭遇平家怨靈襲擊。風暴、怨靈、祈禱交織出的劇情緊張而震撼，是能樂的名作之一。

● Hōshō (Shō) Performance (風箏演奏): The shō, one of the most ethereal instruments in Gagaku, fills the night air with shimmering overtones. Its floating harmonics resonate beautifully across the pond and the cool evening garden. 風箏是雅樂中最具幻想色彩的樂器之一。其複雜而透明的泛音在水面與夜風間流動，營造出獨特而神秘的音響空間。

世界文化遺產 京都 醍醐寺

Venue | Sanbō-in, Daigo-ji Temple (Indoor performance at Omote Shoin in case of rain)

22 Daigo Higashioji-chō, Fushimi-ku, Kyoto Nearest station: Daigo Station (Kyoto Municipal Subway Tozai Line) Bus: Keihan Bus "Daigo-ji-mae" stop

會場: 醍醐寺三寶院(雨天改於表書院室內演出)

京都市伏見區醍醐東大路町22號 交通方式: 京都市營地鐵東西線「醍醐站」下車/京阪巴士「醍醐寺前」站

